一般社団法人 神奈川県作業療法士会
KAOT
神奈川県作業療法士会ニュース
2011年9月
No.151

神奈川県作業療法士会ニュース151号　目次

1 巻頭言
2 震災ボランティア体験報告　第２弾
4 ここへ行ってきた　ヨコハマ・ヒューマン＆テクノランド
5 対外広報班活動報告
6 OTのためのIT講座　第9回
8 地域リハ部のページ・講習会案内
9 各部からの報告
10 神奈川県作業療法臨床研究大会の案内
12 理事会抄録（平成23年7月21日）
13 求人広告
14 青年海外協力隊体験記（第４回）

巻頭言

～新理事紹介～

学術部理事　新戸塚病院　福留大輔

今年度より一般社団法人　神奈川県作業療法士会理事に就任しました、新戸塚病院の福留です。担当部門は学術部となっています。

はじめに、担当部門である学術部の話をさせて頂きます。学術部は、講習会事業、学術誌刊行事業、研究助成事業の３本柱で、会員間の知識と技術の共有を推進し、「ともに学び、助け合う」ことを目的として活動しています。ここ数年で若手の士会員が増えてきており、神奈川県の特色として様々な地方から集まる為、顔見知りが出来にくく日々の臨床で悩んでいる士会員も多いと思われます。この学術部の事業を通して、多くの作業療法士が顔見知りになれ、気軽に相談が出来る環境ができたらと思います。事業内容やその他について、より良いアイデアがある方は、ぜひとも私までご一報下さると幸いです。

と記載しましたが、知らない人に気軽に自分のアイデアなどの話って出来ませんよね。そこで今回、自己紹介を通して私を十分に皆様に知って頂き、本当に気軽に声を掛けて頂ければ嬉しいと思っております。

私は、鹿児島県の出身、趣味は料理と読書、得意料理は牛スジの赤ワイン煮込み、最近読んだ本は『驚異のプレゼンテーション』『ドラッガー関連』、今年で36歳になります。神奈川県の工学部関連の大学に入学しましたが、21歳の時にパティシエになりたいと思い立ち大学を中退し、鹿児島県のとあるケーキ屋で見習いとして修業を始めました。しかし、そこでも仕事内容の辛さに10カ月ほどで挫折しパティシエの夢を諦めてしまいました。夢を諦めたというより、ただの根性無しなのですが…。簡単なケーキくらいは作れますよ。その後、何となく作業療法士の専門学校に入学しました。当時は、理学療法も作業療法の区別も分からず、『何かリハビリ？をする仕事』の免許が取れるといった動機不純満載な学生でした。しかし、学生生活で素晴らしい尊敬する作業療法士の先生方に出会い、人生で初めて死ぬ気で勉強をしました。て言うかさせられたんですけどね。その出会いがあったからこそ、今では作業療法の奥深さに悩み、患者さんを通じ作業療法の素晴らしさに胸を踊らされています。卒業後、初めの3年は精神障害領域で仕事をさせて頂き、その後『ある事情』で新戸塚病院へ入職し現在に至っています。『ある事情』に関しては、気軽に声を掛けられるような仲になったら…。

私は作業療法士の道に入ってから恐ろしいほど自分が変わったと思っています。なぜ変わったのかを考え、そこで今分かったのは、出会いを大切にしたからだと思います。人は出会いによって成長すると思っています。もともとは、人見知りが激しく内気でしたが（この事をうちの職場の後輩が聞いたら絶対ないと言いそうですがホントなんです。）神奈川県に作業療法士関連の知りあいがいなかったので、友達が欲しくて勇気を振絞って研修会などの懇親会に参加しました。そこで多くの人と知り合いになり、凄く成長させて頂く事が出来たと思っています。

そこで、この学術部の事業を通して、多くの人が出会い、成長する場になればと、この度理事と言う大役をさせて頂こうと覚悟を決め望んでいる次第です。

なんとなく私を知って頂いたと思います。今、臨床や教育で悩んでいることをぜひ教えて下さい。その声を、学術部の事業に反映できるよう努力したいと思っております。ぜひ気軽に声を掛けて頂ければと思います。学術関連のアイデアなどは是非メールでも良いので教えて下さい。

新戸塚病院　福留大輔
E-mail　shh-fukutome@ims.gr.jp

災害復興ボランティア報告 第2弾 「がんばっぺ、石巻！」

神奈川県立保土ケ谷養護学校
広報部ニュース編集班
本間　嗣崇

2011年７月23日㈯～30日㈯の日程で、日本作業療法士協会（OT協会）の災害支援ボランティア活動の一環として、宮城県作業療法士会の災害支援活動に従事してきました。この原稿が皆様の手元に届くのは９月下旬と聞いていますので、私が現地を訪れたのは、読んでいただいている２ヶ月前、震災発生から４ヶ月程経った頃の事になります。

そもそも私が被災地でボランティア活動に従事したいと思ったきっかけは、震災発生後、連日テレビで放映される被災地の映像を見聞きし、また大学同期の看護師が震災発生当初より被災者に支援をしている事を知って、私も微力ながらOTとして被災者の方々の力になりたいと思った事でした。しかし現在の勤務先は、いわゆる一人職場で、長期間職場をあけてしまうと本来の業務に支障をきたしてしまうため、沸々としながらも現地に赴かなくてもできる被災地支援を行っていました。

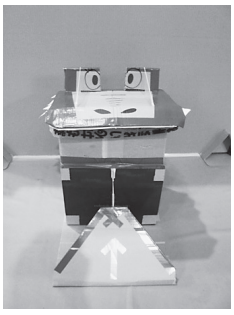
そんなある日、ウエブサイト上の６月21日付OT協会会長の「ボランティアが足りません！」のお知らせが目にとまり、「私で良ければ、何でもします！」と災害支援ボランティアに登録。すると翌日には、OT協会の災害対策本部より、メールで活動期間と活動場所の案内が送られてきて、希望する派遣先の県と従事可能な日程を返信しました。そして選考後のその翌週には、上記期間での派遣の打診と、依頼状が手元に届きました。派遣期間は、勤務先の児童・生徒が夏休みに入ってすぐの期間を選び、また被災者の援助活動等に従事することで最大７日間の休暇が取れるという職場の制度を利用して、現地に赴きました。

宮城県へは横浜から自家用車で向かい、到着日の土曜日に仙台市内の施設で、オリエンテーションとOTボランティアの前任者との申し送りを行いました。仙台市内も地震の揺れは激しかった模様で、伊達政宗で有名な仙台城跡の石垣も一部崩落し、市街地ではアスファルト道路が補修された跡やマンションの外壁に亀裂が入ったり剥がれている箇所など、多くの地震の爪痕を目にしました。その日は仙台に一泊し、翌日曜日は、派遣先の石巻市内への移動と、被災地の視察として石巻市と南三陸町沿岸部まで足を延ばしました。そこにはテレビで何度も放映された馴染みのある建物や風景が、テレビ映像以上のスケールで広がっていました。震災から４ヶ月。がれきの多くは撤去されて高く高く積み上げられてまとめられ、鉄骨がむき出しになって佇んでいる建物の横には道が再び現れ、新しく電柱が建てられて電気が通り、水田には太腿の高さまで稲が育ちと、多く

日和山（石巻市）からの景色：奥に写っているのが海沿いのがれきの丘。

※旧桃生郡河北町地区（現石巻市）：奥に写っているのが大川小学校。がれきの撤去作業が進む。

避難所のゴミ箱：臭いとハエ対策のためフタが乗せてある。



作製したゴミ箱：避難所にある不用品で作製。（構造上ワニのようになりました…）

作製したゴミ箱：足踏みで開閉が可能。

の人々の力で被災地は前に進んで行っているんだという事を肌で感じました。

今回の私の派遣先は、石巻市内の「福祉避難所」や「福祉的避難所」と呼ばれている、通常の避難所では特別の配慮を必要とする方々とそのご家族が入所されている避難所の１つでした。避難所の規模は、震災後徐々に入所者さんが退所されたため、派遣時現在では入所者さん30名程、スタッフがボランティアを合わせて日勤帯で20名程でした。そこには石巻市急患センター所属の看護師や、地元の特別養護老人ホームの各種スタッフ、東日本大震災リハビリテーション支援関連10団体所属の作業療法士や理学療法士が従事しており、私も皆さんと協働して一週間を過ごしてきました。リハスタッフとしての私の避難所での役割は大きく分けて２つあり、①入所者さんが仮設住宅へと移るまでの期間の廃用予防や心身機能の維持、②避難所の環境調整・整備等となっており、かつ一週間という期間の中で完結する支援が求められました。（ボランティアによるやりっぱなし支援や、継続困難な過剰支援が多かったためとの事）

派遣当初は、OT備品が乱雑に収納されている箱や棚の整理と備品の分類をしながら、使うことのできる道具と材料の把握を行い、またその傍らで入所者さんとお話をしたり、要望を聞いたり、朝昼に集団で行われる体操の運営を行っていました。また環境調整等の入所者さんへの間接的な支援として、一週間を通して入所者さんのニーズを聞き、避難所にあるもので、取り出しやすい形状のせっけん入れや、薬を分類する収納箱、足踏み開閉式のフタ付きごみ箱などを作製しました。その時は、ご高齢の方々や片麻痺の方を想定して物品を作製しましたが、ご家族の方々からの評判も良く、あたり前の事ですが「ユニバーサルデザインはユニバーサルなんだ」という事を実感しました。

棚が整理されつつある２日目辺りには「きれいになってきて気分が良いよ」とか「ミサンガって作れるか？」とか「ズボンの裾上げがしたいんだけど裁縫道具貸してもらえる？」などと声をかけられる事が多くなりました。避難所生活では、被災前の生活と比べると生活環境が大きく変わり、また場所や道具の制約から、手持無沙汰な時間が多くなり、活動量が低下しやすい傾向にあります。入所者さんの中には比較的ADL自立度が高い方が多く、元々の生活リズムや趣味などを聴取する中で、希望される方々とは各種アクティビティ（くす玉作り、マクラメ、裁縫の雑巾縫い、木工の割り箸細工など）を派遣最終日まで行いました。90歳前後の入所者さんと雑巾を一緒に縫っている時に「４ヶ月ぶりにやったよ。私たちにできる仕事は少ないから（雑巾を作ることで）皆さんの役に立ててうれしいよ」との言葉を聞いた事や、毎日黙々とプレゼント用にマクラメ作りを続ける方、折り紙で一緒に飛行機を折って飛ばすことで、たった１枚の折り紙が人の自然な笑顔を引き出す事ができるという場面などに居合わせた事で、“作業”と対象者に合わせてそれを扱う事のできる“作業療法士”の魅力を再認識することができました。

宮城県作業療法士会のOTによると、避難所は９月に閉所予定との事。今後、避難所から仮設住宅への生活、そして地域での生活へと生活の場所を移していく中で、作業療法士やボランティアスタッフに求められるものは時々刻々と変化していくと思われます。そのような中で、色々と学ばせて頂いた被災地に対して、今後も直接・間接的に恩返しができればと考えています。

最後に、現地でのコーディネートをしてくださった宮城県作業療法士会のOTの方々、そして快く私を被災地へと送り出してくださった職場の管理職や先生方に、この場をかりて御礼申し上げます。ありがとうございました。

そしてこの原稿を書いている最中に、再び被災地への派遣が決まりました。震災発生から５ヶ月の今、現地で何が求められるかは分かりませんが、ボランティアの一作業療法士として、やれる事を精一杯やってきます。それでは、行ってきます！

避難所内全景：居住スペースは各世帯ごとにパーテンションで区切られている。

裁縫場面：不要な布で三人で談笑しながら雑巾を作製中。

避難所前にある仮設住宅：運動場の上に建設。スロープ付きの住宅もある。

ヨコハマ・ヒューマン＆テクノランド

台風も通り過ぎ、連日の猛暑の中休みを思わせる、過ごしすい陽気の７月21日～22日の２日間、今年で10年目を迎えるヨコハマ・ヒューマン＆テクノランド（愛称：ヨッテク）が横浜みなとみらい、パシフィコ横浜にて開催されました。「つなぐゾーン」「たのしむゾーン」「くらすゾーン」に分かれ、60を越える企業や団体が出展し、企業プレゼンテーションやデモンストレーション、簡単クッキングクラスなどのミニレクチャーも充実。更に３月11日の東北地方太平洋沖地震を受け、ヨコハマに暮らす障碍児者やその家族が、震災への備えをどうしておけばよいのか、をテーマに「災害に強い福祉のひとづくり・ものづくり」を企画。障碍別役立ち情報掲示板「愛（ｉ）ボード」や軽自動車キャンピングカー、バイオトイレカー、停電時の福祉用具の対応など紹介されていました。

数多くあるブースの中で、今回取り上げたいのは、「ユニバーサルファッション（以下UD）」についてです。まずは、アソシエCHACOの栗田佐穂子さんにお話を伺ってきました。

「ユニバーサルファッションと聞くと、まだまだ『介護服』、つまり『介助者にとって被介助者に着せやすい服』といったイメージが強いようです。しかしUDが目指すところは、『障碍者自身が着やすい』という点に留まらず、『誰が着ても着やすい、どんな人でも着られる』という点だと思います。例えばこのネクタイ、当初は片麻痺の方でも簡単に付けられる様工夫しましたが、いまでは忙しい営業マンにも好評で、またそういう方のニーズを反映して、素材も100％シルクからポリエステルなど安価な生地を使い、価格を抑える努力をしました。更に当社では手持ちの服を持ち込んでいただいても、お好きな生地を選んでいただいても構いません。UD服の発展はいかにコストを抑えられるかにあると思います。工場で定型を作り、そこからはオプションで…という形を作り上げたいです。どんな形の洋服でも、工夫次第で着られます。着られない服はありません！！」

片手で結べるネクタイ

車いす対応ズボン

また、UD服ブースにいた女性にもインタビューを試みました。

「UD服についてあまり知識はなかったのですが、去年ヨッテクに来た際広いスペースを服関連で割いていて、目を引きました。その時はあまり必要性を感じてなかったのですが、車椅子生活も３年になり、やはり座っている時に背中が見えてしまうのが気になって…。今年はズボンを買いにヨッテクに来ました。横浜ラポールによく行くので、ジャージ素材でこういうズボンがあるといいなと思いました。去年はスカートもあったんだけど、今年はないのかしら…」

更に、ファッションについてどう思われるか、を質問しました。

「病気になる前は、おしゃれが好きでした。けれど今は諦めモードですね…。若い子なんかは選択肢が多いほうがいいと思うけど、今は手持ちの服を着たり、大量生産の服が多いでしょうか。外出するのにも人の手を借りなきゃならないし、車の手配だなんだってやっていると、億劫になりますね。決まった場所以外に出歩く機会も減ったから、『新しい洋服がほしい』っていう気分にもなりません」

「先日、病気になって初めて買い物に出掛けましたが、今までとの目線の違いにびっくりしました。ちょっと手にとってみたい品物に車椅子の高さからなかなか手が届かないのですね。子供目線なのね。けれど、この座っても背中が見えないタイプのズボンは欲しい!と思いました。裁縫が得意な友人の中には、年取ると市販のズボンでは股上が浅くて、どうしても背中が見えやすくなるからって、自分で背中部分に当て布をしている人もいます。こういう服がもっと手近に手に入ればいいのに…」

ファッション感覚は千差万別ですが、服のおしゃれ性と機能性の両方が兼ね備わってくることで、UD服は単に「介護服」に留まらず、今後より一層多くの人の心を掴んでゆくように思いました。

最後に耳寄り情報！飾りボタンとしても使える、後ろがマグネット式になっているボタンなどの便利グッズは、ユザワヤ本店や新宿オカダヤ本店、アソシエCHACO（http://www.a-chaco.com/）で手に入るようです。みなさんご自身の服にも是非取り付けて、使い勝手を試してみてください。（文責　菊地）

マグネット式ボタン

広報部対外広報班より活動報告

今年度も広報部対外広報では、OTの啓発を目的に様々な企画を実施しています！
今回の６月・７月に開催しました２つの企画について報告します。

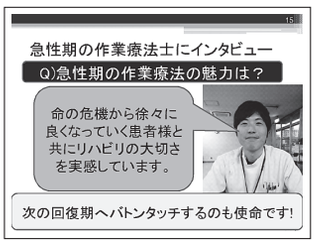
1．学生への啓発活動

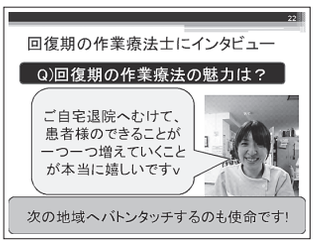
（６月18日　新宿セミナー横主催「リハビリ系分野進学イベント」に参加）

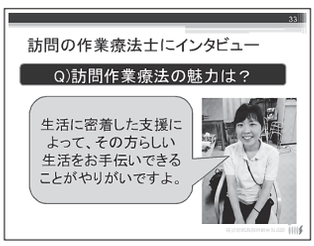
活動内容

第１部　講義「現役作業療法士に聞く！作業療法士の仕事」でスライド紹介

作業療法士が働いている病院・地域での仕事について、１日のスケジュールの紹介や、作業療法内容の紹介のほか、各作業療法士が感じている作業療法の魅力についても紹介しました。







講演スライドより。
臨床作業療法士が話す作業療法の魅力について紹介しました。

第２部　「神奈川県内リハビリ系大学・専門学校合同入試ガイダンス」では、県内OT養成校と共にブース出展し、個人相談を行いました。

県士会のブースには、親子で来場する方もいたりと、進路に悩む学生（こころの支援も担うなど、幅広い分野に渡る作業療法は大変じゃないだろうか…等）、や作業療法についてもっとよく知りたいと興味をもった学生が数多くいました。

ブース会場の様子

県士会ブースでの個人相談

感想

新宿セミナーの講師の方より、「作業療法は必要な分野である一方、志望者はNs／PTに比べると少ないのが現状です。もっともっともっと志望者が増えてほしい領域ですね」とお話を下さいました。未来のOTを育てることろでも、今後のOTの拡大に期待してくださっています。私達神奈川県作業療法士会としても、もっと意欲ある志望者が増えるために、学生啓発を続けていきたいものです。

2．一般市民への啓発活動

（平成23年７月22日～23日　YOTECブース出展参加）

活動内容

＊作業活動の無料体験（革細工でしおりづくり）
＊パンフレット配布
＊個別相談（さまざまな相談が寄せられました）
相談例）
・訪問看護の管理者より
　Q．在宅でのリハのニーズが増えている。どのようにOTを確保したらよいか。
・がん専門の病院OTより
　Q．OTを新設予定。どのような受け入れ態勢を整えたらよいか…。
・高校生より
　Q．作業療法士になるにはどうしたらよいか？

YOTECは2日間で1万4千人以上の参加者で大盛況でした。

県士会ブースも様々な方が立ち寄り、OTを知っていただく絶好の機会となりました。

感想

YOTECには、OTを知らない方から知っている方まで様々な来場者層でした。

ご家族や知人が・ご本人がOTを受けた方などは経験談などをお話してくださったり、また知らなかった方でも革細工体験に興味を持ってブースに来る方も非常に多く、活動を通してOTを知るきっかけにできたと思います。

今後も県士会の活発な活動を通してOTを盛り立てていきましょう！

（文責　酒井）

YOTEC での神奈川県 OT 士会ブースの様子

OTのためのIT講座

第9回　スマートフォンで便利な検索のコツ

講師
石川 敢也さん

松本　あ、スマートフォンに変えたんですね？

石川　そうなんですよ。iPhoneも検討したんですけどね、Androidにしました。

松本　私の周りでも、ケータイの機種変更でスマートフォンを選ぶ人が多くなりましたよ。グーグルの検索アプリがすぐ使えるんですよね。ケータイに向かって独りでしゃべってる人も見ましたよ。

石川　音声検索ですね。意外に誤認識は少なくて、かなり使えますよ。テレビのCMでもやってますね。

松本　アップルとかグーグルのCMでは、なんだか便利そうな雰囲気は分かるんですが、なにやってるんだか、実はよく分かんないです。

石川　なるほど、では今回は、スマートフォンで使える検索のあれこれってことにしましょう。

松本　いいですね！これからますます必要になるテクニックってことですね！

質問を募集しています！ ？？？？？？？？？？？？？？？？

「OTのためのIT講座」で取り上げてほしい質問を募集しています。

下記のURLから投稿してください。

● **「OTのためのIT講座」質問箱**　http://post.afinax.com/

記事の感想や要望などもお気軽にお送り下されば幸いです。

スマートフォンで便利な検索のコツ

●天気予報

使い方：「天気予報」とだけ入力して検索すると、すぐに今いる場所の天気予報がすぐに表示されます。

解説：場所を入力する必要がなく、検索結果をクリックする必要もなく、いきなり結果（自分が居る場所の天気予報）が表示されるのが便利なところです。神奈川県の場合では、例えば「鴨居駅の天気」など、場所を指定していないのにピンポイントで表示されるので、驚くかもしれません。

●路線検索

使い方：例えば「乗り換え 新横浜 池袋」のように、「乗り換え 乗車駅 下車駅」で検索します。

解説：路線探索の専用サイトにアクセスしなくてもGoogleで検索できます。音声認識での検索もできます。ただ、頻繁に路線検索をする人は「乗換案内」や「NAVITIME」などの専用サイトや専用アプリを使った方が分かりやすいかもしれません。

●宅急便の配達状況

使い方：「ヤマト　111111111111」のように「ヤマト　伝票番号」で検索します。

解説：クロネコヤマトの伝票番号をいきなり検索してもOKです。上記の例ではハイフンを省いていますが、伝票通りハイフンがあっても大丈夫です。ヤマト運輸のサイトを探す手間をかけなくても配達状況が検索結果に表示されます。

●単位を換算したい

使い方：「10キロは何マイル」や「50平方メートルは何坪」のように、知りたいことをそのまま検索します。

解説：上記の例では「10キロメートル=6.21371192マイル」とか「50（平方メートル）=15.12500坪」とすぐに出てきます。音声認識でも大丈夫なので便利です。ニュースで最近よく耳にする「シーベルト」と「ミリシーベルト」の変換もできます。

●海外の通貨に両替をする

使い方：「1000円を中国の通貨に」のように、文章で検索すれば通貨換算した結果が表示されます。

解説：上記の例では「1000円=83.1723587人民元」とすぐに出てきます。「シンガポールのお金をインドネシアのお金に」と検索すれば「1シンガポールドル=7022.9322インドネシアルピア」と出ますので、通貨の呼称が分からなくても国名だけで大丈夫です。

●世界の時間を知る

使い方：「time Paris」のように、timeの後に都市名をつけて検索します。

解説：timeの後の都市の時間が表示されます。都市名はある程度の規模の街ならどこでも構いません。英語の綴りが分からなくても「time　フィラデルフィア」のようにカタカナで検索しても大丈夫です。

●翻訳する

使い方：「和英　作業療法」や「和英　Information Technology」のように、和英（英和）の後に訳したい言葉を続けて検索します。

解説：日本語から英語（和英）だけでなく、英語から日本語（英和）もできるので辞書として使えます。上記ような例は音声認識でも大丈夫ですが、単語ではなく会話や長い文章は「Google翻訳」に移ってから利用した方が確実で便利です。

地域リハビリテーション部

地域リハ推進班

関連職種の活動を知る
神奈川県精神保健福祉士協会について

地域リハビリテーション部では「関係職種・機関・組織との連携や神奈川県民との連携により地域リハビリテーションの普及・推進を図る」目的として、障がい者（当事者）団体の活動の広報をおこなってきました。今回は二宮町民センターで平成22年11月27～28日におこなわれた神奈川県精神保健福祉士（以下PSW）協会研修委員会が開催した実践報告会と宿泊研修会・中級研修会についてご紹介いたします。

神奈川県PSW協会では神奈川県OT士会と同様に、専門職として資質の向上を図り会員相互の交流や関係団体との連携、その他社会活動を通じ、精神保健福祉の発展に寄与することを目的とするという活動方針があります。

【研修会の様子】

27日（１日目）の実践報告会は『見つめよう、見直そう、かながわの実践』をテーマにPSW以外の職種、学生の参加も可能のオープン企画で、田園調布学園大学の小田敏雄先生を座長に４施設からの活動報告がありました。

汐入メンタルクリニックデイケアの有川氏からは横須賀三浦周辺地域の若手職員の意見交換会や学習会などを中心に活動されているユニークなネーミングの「やんちゃ会の活動とネットワークについて」の報告がありました。

続いて横浜市の総合保健医療センターの安増氏より、横浜市の単独事業で主に単身者または単身生活への移行を希望する人への総合的な生活支援「横浜市自立生活アシスタントについて」の報告、WRAPかながわ活動とWRAPの概要についての報告がありました。

WRAPとはWellness Recovery Action Planの頭文字で元気回復行動プランというもので、アメリカのメアリー・エレン・コープランドさんを中心に精神症状を経験した人たちによって考案され、今なお発展しつづけているリカバリーに役立つプログラムといわれています。

最後に藤沢病院の長見氏より藤沢市の地域移行支援の取り組み「藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会」についての中間報告がありました。藤沢市の精神保健福祉の関係機関が連携して、患者さんが病院から退院した後も継続して生活支援をしていくことを目標としている活動のほか、藤沢市の様々な特色ある取り組みの紹介がありました。

28日（２日目）の午前中は新人とベテランの交流会と経験５年以上の中堅者研修に分かれおこなわれ、新人とベテランの交流会では「公開スーパーバイズ」と題して、木太直人氏がPSWとして大事にしたい視点について、架空の事例を用いながら話し合いがおこなわれました。また中堅者研修では「PSWのキャリアを考える～現在と未来の希望のために～」という題で愛知淑徳大学の瀧誠先生を講師に招き、先生の講義と３名の体験発表がおこなわれました。そして最後に「もう一歩踏み出すために～ソーシャルワーク実践と私たちの明日～」とグループワークの後、閉会となりました。

平成23年度は神奈川県PSW協会と合同研修会を開催いたします。合同研修会の様子は後日ご報告いたします。

（文責：地域リハビリテーション部　原島）

研修会

実践！発達OTミーティング Vol.4　in 愛知

講師：鯨岡峻先生（中京大学）
SV：岸本光夫（フリーランスOT）
　　小西紀一先生（姫路獨協大学）
　　長谷龍太郎先生　（神奈川県立保健福祉大学）
発表者：小松則登（愛知県コロニー中央病院）
　　酒井康年（うめだ・あけぼの学園）
　　灘裕介（あーとねっと）
　　石原詩子（京丹波町子育て支援課）
ゲスト：黒澤淳二（大阪総合発達療育センター）
日時：H24年１月７・８日（土・日）
場所：１日目　WINC-AICH（名古屋駅前）
　　２日目　日本福祉大学美浜キャンパス
定員：220名
参加費：￥5,000（特別講演のみの参加は1,000円）
　　（OT/PT/STの方）
申込期間：H23年９月26日～H23年11月22日
申し込み方法：aichiotm@yahoo.co.jpへPC-mailからお申込みください。
■件名：『OTM愛知参加申し込み』◆参加者氏名・職種◆所属名　◆所属先住所・電話番号　◆連絡先（電話番号・FAX番号・PCメールアドレスなど、必ず連絡がとれるもの（＊携帯メールのアドレスはご遠慮ください）◆参加形態：A「特別講演から全日参加」、B「７日午後から全日参加」、C「特別講演のみの参加」、からひとつ選択　◆大懇親会への参加希望の有無をご記入ください。

各部からの報告

教育部

○連載！

県士会ウェブサイトから質問ができます！

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、生涯教育制度関連の情報を毎号少しづつお伝えしています。

1．県士会SIG認定団体に２団体を承認（７月理事会にて）

①作業療法地域連携会@sagamihara

②行動リハビリテーション研究会

各団体の詳細は、県士会ウェブサイトの生涯教育制度コーナーをご覧ください。

2．現職者共通研修がインターネット配信されてます！

春頃の協会ニュースでご覧になった方もいると思いますが、これまでスカパーの「医療福祉チャンネル」の放送が終了し、同様のコンテンツがインターネット上の「医療福祉ｅチャンネル（http://www.ch774.com/）」として、VOD（ビデオ・オン・デマンド）方式で配信されています。「現職者共通研修」８番組が受講できます。受講の手続き等に関しては、医療福祉ｅチャンネルのホームページをご覧ください。

研修会への参加が困難な方、今さら現職者共通研修かぁと思っている方、ぜひチャレンジしてみてください。

3．事例報告登録制度研修会に関して

11月23日（水・祝）10：30～12：00（受付10時より）　ウイリング横浜

＊現職者共通研修開催時の午前中

＊現職者共通研修とは別の研修会となります。

＊詳細は同封チラシをご覧ください。

生涯教育制度に関してご不明の点はご連絡ください。

県士会ウェブサイトからもご質問ができます。

教育部 奥原孝幸（昭和大学）　045-985-6500（代）、kyoiku@kana-ot.jp

ウェブサイト管理委員会

○ラブレター フロム カナガワ

ハマ子：おっ県士会サイトが更新された。
よこ太:ネット見てるの？　あっ納涼会の場所、探してよ。
ハマ子：メールチェックよ。自分で探しなさい。
よこ太：ラブレター フロム カナーダー♪
ハマ子：えっ!?　今年の納涼会、カラオケ？
よこ太：あれ？知らない？「kanaからの手紙」でしょ？
ハマ子：今のあんた「カナダからの手紙」じゃん。
よこ太：やっとハマ子が知らないことがあったー！
ハマ子：知らなくて何か損あること（-_-）？
よこ太：知りたい？
ハマ子：明日から休み。しばらく来ないよ。じゃね。
よこ太：へへへーちょーうれしーハマ子が知らなーい
よこ太：あのね、あのね、県士会サイト新着メールマガジン「kanaからの手紙」の名称は、「カナダからの手紙」をもじったんだよ。若い人知らないよねー。
よこ太：あれ？ハマ子？ホントに帰っちゃったの？
よこ太：…えっと「kanaからの手紙」はメールアドレスを登録しておくと、県士会サイトの新着情報が届きます。とても便利です。ぜひ登録してください！

（文責：ウェブサイト管理委員会　作田・大澤）

「kanaからの手紙」登録
http://kana-ot.jp/update/from_kana

平成23年７月アクセスランキング
１位　求人情報掲載板　5572件
２位　講習会・研修会　4868件
３位　OTからのメッセージ　1488件
４位　作業療法Tips　1245件
５位　自助具INDEX　1226件

平成23年７月県士会ブログランキング
１位　ウェブ管的知恵袋　583件
２位　ALS支援ブログ@KAOT　165件
３位　おやじOTたちのソネット　98件

更新件数：59件　訪問者延べ数：8525人
Kanaからの手紙発行回数：８回
Twitter（ID:kaotwebkan）：フォロアー105名

地域リハビリテーション部

○≪７月～９月の活動報告≫

①訪問リハアンケート調査票の回収およびデータベース作業
②認知症の方に対する作業療法アンケート調査準備
③地域リハ勉強会（PSW協会合同）開催準備
④訪問リハ実務者研修会（PTST合同）開催　８月20、21日
⑤パイロット事業講習会開催　７月９日（小田原）、８月20日（横浜）
⑥特別支援学校を中心としたタウンミーティング準備　12月３日、３月10日

・訪問リハ（作業療法）実施事業所のアンケート調査ご協力ありがとうございました。結果はウェブサイトに掲載（９月中を予定）いたしますのでご確認ください。
・認知症の方に対する作業療法アンケート調査を開始いたします。お手数ですがご協力の程よろしくお願いいたします。
・各種研修会をご案内しています（ウェブサイト要確認）。是非ご参加ください。

（文責：地域リハビリテーション部　木村）

第１回 神奈川県臨床作業療法大会のご案内

症例報告を中心とした「新しい学会」第１回神奈川県臨床作業療法大会を下記の要領で開催いたします。皆様には奮って、演題登録、参加いただきますようよろしくお願いします。

● 会　　期 ●

平成24年４月15日㈰

● 大 会 長 ●

鴻井建三
（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

● プログラム概要 ●

■一般演題（症例報告10～15題）・奨励研究発表
■講　演（福島学院大学　星野仁彦　先生）
　　テーマ：大人の発達障害
■神奈川県作業療法士総会
＊一般社団法人神奈川県作業療法士協会ホームページ　http://kana-ot.jp
第一回神奈川県作業療法臨床研究大会ブログ
http://rinkengym.blogspot.com
にて、最新情報を提供します。

● 会　　場 ●

横浜市内のホール（決定次第、お知らせします）

● 参 加 費 ●

会員　当日2500円　事前登録2000円
非会員/他職種3000円　学生無料
会員は、平成23年度神奈川県作業療法士会会費納入済みであること。参加申し込みの前に会費納入の有無を必ず確認ください。

● 事前参加申し込み ●

ワンホール開催のため事前登録をお願いします。
■下記要綱をＥメールにご記入の上、
rinkengym@gmail.com
に送信して下さい。
件名：**「第１回神奈川県臨床作業療法大会参加希望」**
本文：①氏名②所属③連絡先（電話番号、メールアドレス）④送金金額
＊複数人で申し込みをされる場合は、各々の所属、連絡先、人数分の送金金額をご記入下さい。
■メール送信後１週間以内に下記口座に参加費の振込をお願い致します。
ゆうちょ銀行【店番】028（読み　ゼロニハチ）
【口座名】神奈川県臨床作業療法研究大会
【預金種目】普通口座
【口座番号】5091710
■参加費振込確認後、事務局より受領確認メールを送信致します。事務手続き上、２週間程度要しますがご了承下さい。
■事前申し込み受付期間：
平成24年２月１日～平成24年２月29日

● 演題募集 ●

症例報告を募集します。日頃の臨床での経験を発表してみませんか？今まで発表したことがなくて心配、学会までは…、と思っている人。まずは抄録まで作成する必要はないので、発表しようと思った時点で、大まかな内容、考えている内容を**「企画書」**という形で応募してください。企画書は

大まかな概要で結構です。発表までの流れは下記の図を参照してください。

演題登録・発表までの流れ

2011.12.1～25

Ｅメールにて企画書登録

事務局にて査読・審査（随時、採択結果通知、抄録作成依頼）

2012.1.15

最終企画書採択通知、抄録作成依頼

2012.2.29

抄録登録締め切り

2012.4.15

演題発表（口述）

発表形式

口述発表

（応募数により、発表形式の変更もあります）

演題内容に関わる倫理的事項について

日本作業療法学会演題応募倫理的事項に準じます。

応募方法

■企画書原稿は下記の「企画書登録フォーム」を参照して記入し、**kanarinken@gmail.com**　に送信してください。

件名：**「第１回日神奈川県臨床作業療法大会企画書応募」**

演題原稿は、Wordファイルに変換したものを添付ファイルにてお送り下さい。

■企画書の内容を確認のメールを事務局から返信致します。もし返信がない場合は、必ず事務局までご連絡下さい。

■企画書応募受付期間：**2011年12月１日㈬正午～2011年12月25日㈭正午必着**

■採択結果は随時メールにて通知いたします。最終採択結果通知は**2012年１月15日㈬**です。採択された場合は、抄録集に掲載する全文抄録を作成していただきます。

お問い合わせ先

横浜市立大学附属市民総合医療センター
リハビリテーション部　山岸・伊藤
住所：〒232-0024　横浜市南区浦舟町4-57
電話番号：045-261-5656（代表）

企画書登録フォーム

一般情報	所属	
	会員番号	
	演者名	（筆頭者のみ記載）
	メールアドレス	
演題	演題名	（仮題でも結構です）
	発表分野	（身体障害・精神障害・発達障害・老年期・教育・研究・その他、のいずれかを記載してください）
内容	疾患名	（主な疾患名をお書きください）
	障害名	（主な障害名をお書きください）
	性別	（性別をお書きください）
	年齢	（症例の年齢をお書きください。○歳前半でも結構です）
	症例種別	（改善例・維持例・難渋例・稀少報告例のいずれかを選択）
	発表意義	（作業療法アプローチ、稀少症例・症状、その他のいずれかを選択）
	本文	（400字程度で大まかな要旨をお書き下さい）

理事会報告

平成23年度　第２回　一般社団法人　神奈川県作業療法士会理事会　抄録

日時：平成23年７月21日㈭　19：00 ～21：30　場　所：神奈川県作業療法士会事務所
出席理事：渡邉、奥原、木村、小峰、作田、鈴木、机、冨山、中西、野々垣、原、福留、三浦、澤口
出席監事：長谷川　　委任理事：佐藤、錠内、淺井　　委任監事：清宮
その他：名古屋、中尾、金山（事務局書記）、松本（広報部ニュース班）

●財務部（野々垣理事）
・財務状況の周知について
財務諸表の情報公開（公告）をウェブサイト管理委員会に依頼済み。各会員へは７月発行の県士会ニュースに総会時配布した会計書類を同封。
・会費振込用紙発送について
コンビニ決済の納入期限は９月末日まで。７月末に納入が確認できない会員に対し、８月中旬に再度会費振込用紙を発送する。

●学術部（福留理事）
・学術誌編集委員の承認（13名）：中西浩司（北里大学東病院）、渡邉誠（北里大学医療衛生学部）、森田千晶（自宅会員）、三浦慈子（国際医療福祉大学小田原保健医療学部）、有川真弓・友利幸之介・小河原格也（神奈川県立保健福祉大学）、坂本安令（横浜市立大学附属病院）、、松本政悦（横浜市総合リハビリテーションセンター）、神保洋平（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）、三川年正（横浜リハビリテーション専門学校）、埜崎都代子（昭和大学保健医療学部）、坂本俊夫（横浜YMCA学院専門学校）、
・講習会習会開催予定（新規事項のみ記載）　９／17分野別講習会【身体障害分野】テーマ「高次脳機能障害の基礎」講師：早川裕子（OT）　参加費：2000円　会場：ウィリング横浜

●教育部（奥原理事）
・SIG団体登録承認に関して：①作業療法地域連携会@sagamihara　②行動リハビリテーション研究会　⇒協会SIG団体認定規定、県士会規定を満たしており、ともに承認
・研修会予定（新規事項のみ記載）
【第１回現職者共通研修】　９／３・４　会場：横浜リハビリテーション門学校　講師：「作業療法生涯教育概論」奥原孝幸（昭和大学）、
「保健・医療・福祉と地域支援」机　里恵（横浜リハビリテーション専門学校）、「作業療法の可能性」錠内広之（日本鋼管病院）、「事例検討方法論」長雄眞一郎（神奈川県立保健福祉大学）、「日本と世界の作業療法の動向」長谷龍太郎（神奈川県立保健福祉大学）、
「作業療法における協業・後輩育成」鈴木孝治（国際医療福祉大学小田原保健医療学部）
【第２回現職者共通研修】　11／23　会場：ウィリング横浜
講師：「エビデンスと作業療法実践」鈴木久義（昭和大学）、「職業倫理」浅井憲義（北里大学）　＊生涯教育制度相談コーナーを開設予定。
【事例報告登録制度研修会】11／23　会場：ウィリング横浜
＊第２回現職者共通研修同日の午前中に開催予定。講師等はOT協会学術部と協議中。

●広報部（小峰理事）
・神奈川県言語聴覚士会（仮称）への協力について⇒承認
151号のニュースに県内のSTに向けてのチラシを同封し、協力予定。印刷費用はST協会が負担する予定。
・部員承認（15名）：本間嗣崇（神奈川県立保土ケ谷養護学校）⇒承認
・対外広報活動予定について（新規事項のみ記載）
１）学生向けの啓発活動　６／18　会場：新宿セミナー横浜校講演と相談コーナーでブース展、他県内養成校７校がブース出展
２）一般市民・県民向け啓発活動
①７／22・23　YOTECブース出展　②ラジオ出演（木曜10：00～ラジオ日本「横浜ロハス」）　③OT協会広報部主催：神奈川県でのキャンペーン活動　具体的な内容は７月中旬（広報部会議）、７月末（合同研修会）で決定。④OTフォーラム（OT協会事業部主催）９／25　会場：日石横浜ホール　今年度は開催時間が短く、出展活動はせず。
・広報活動支援物品について：県士会ロゴ入りウィンドブレーカーを作成した。イベント・行事等で使用していく。保管は県士会事務局。
・ニュースの発行について　予定通り発行中。
・神奈川県作業療法士会　紹介パンフレット改定について
現在のパンフレット部数を確認し今後内容・サイズ等を検討する。

●福利部（冨山理事）
・新入会員オリエンテーション＆歓迎会について（新規事項のみ記載）
９／３現職者共通研修終了後16：00～　会場：横浜リハビリテーション専門学校地下１階　終了後に懇親会を開催予定。例年同様、理事・監事は出席。
・求人情報について：利便性を高めるため、ウェブサイトの求人情報の掲載についてシステムを変更する。
・倫理問題について：相談１件あり。県士会長・OT協会倫理委員長と相談。倫理問題報告書を本人の聴取より作成し、OT協会倫理委員長宛に提出。
・職場見学会について：11月と１月に開催予定。詳細は検討中。

●地域リハビリテーション部（木村理事）
・研修会出席予定　７／14・15「訪問リハ・地域リーダー研修会」　７／30・31「協会都道府県役職者合同研修会」→パイロット事業の報告
・「訪問リハ事業所アンケート」のスケジュール　８月末→回収、９月中→データの整理、９月末→ウェブサイトに情報掲載
・「認知症作業療法実態調査（アンケート調査）」スケジュール
９月頃→全施設にアンケートを配布、11月末→データの解析、１月→結果をニュースに掲載　結果をこれからの活動に反映する。
・「特別支援学校を中心としたタウンミーティングの有効性の調査」
12／3　3／10　両日とも13時～16時　会場：相模原中央支援学校　参加対象：近隣に勤務あるいは在住のOT　内容：養護学校のOTの状況を報告、地域連携に今後必要な取り組みなどのディスカッション。元座間養護学校校長の杉本氏に協力をいただく。
・研修会開催予定
【第２回訪問リハビリテーション実務者研修会】８／20・21
会場：横浜リハビリテーション専門学校→県PT・OT・STと合同企画。
【OT・PSW合同研修会（第７回地域リハ勉強会）】９／18　会場：ウィリング横浜
【第１回訪問リハビリテーションスキルアップ研修会（仮）】
２／４・５
【OT協会パイロット事業講習会】７／9　8／20　9／10

●福祉用具委員会（錠内副会長代読）
・福祉用具専門相談員の推薦・派遣：神奈川県社会福祉協議会県民活動推進部福祉用具等利用支援担当課より依頼　期間：2011年４月１日～2012年３月31日　毎月第２・４土曜日（月２回）14：00～16：00⇒12名を推薦：机里恵（横浜リハビリテーション専門学校）
野々垣睦美（すてっぷなな）、木下剛（済生会横浜東部病院）、村越妙美（川崎協同病院）、田中秀和・牧山大輔（横浜新都市脳神経外科病院）、沼田一恵（横浜らいず）、川辺均（茅ヶ崎新北陵病院）、田畑雄吉（ふれあい平塚ホスピタル）、川上新（済生会神奈川県病院）、菊池泰雅（ナーシングピア横浜）、佐谷瑞紀（レストア横浜）
・HCR：東京都士会と協力し展示及びセミナー企画。県パイロット事業の報告（木村理事）や県士会の活動内容もパネル紹介する。

●事務局（澤口事務局長）
・WFOT2014のwebサイトオープン　ぜひアクセスをして下さい。
・「住宅改修ガイドブック編集委員会」（かながわ福祉サービス振興会）委員委嘱依頼⇒錠内副会長を依頼し推薦した
・病院医療関係団体連絡協議会　県士会が会長兼事務局で10／21開催で調整中　県知事新任に伴い協議会と懇談予定
※紙面の都合で一部割愛しています…詳細は県士会Webをご覧下さい　（文責：澤口）

求　人

作業療法士　募集

当院は地域密着型のリハビリテーションを目指しています。古都鎌倉で一緒に働きませんか。
鎌倉駅下車徒歩７分です。

施設概要　・病院（198床）脳血管リハ（Ⅰ）
　　運動器リハ（Ⅰ）呼吸リハ（Ⅰ）
　　・病院併設老人保健施設
募集人員　常勤作業療法士　若干名
待　　遇　当院規定により優遇。経験年数加算。
　　昇給年１回。賞与年２回。
勤務時間　８：30～17：00　土曜日８：30～12：30
休　　日　４週６休、有給休暇、年末年始
そ の 他　学会・研修会出張奨励
　　老健・病院リハスタッフ合同の定期的勉強会あり。PT ６名、OT ３名、ST ３名。
応募方法　随時電話連絡の上、履歴書郵送願います
担 当 者　リハビリテーション科科長藤原加津朗

医療法人養生院　清川病院
〒248-0006　神奈川県鎌倉市小町２-13- ７
046-24-0015
URL　http：//www.kiyokawa-hp.or.jp/
Ｅメール　reha-kiyokawa@kamakuranet.ne.jp

求　人

作業療法士　募集

募集人員：３名
施設概要：515床。脳血管リハ（Ⅰ）運動器リハ（Ⅰ）
　　呼吸器リハ（Ⅰ）
就労期間：応相談
応募資格：作業療法士免許を有する方
待　　遇：給与・手当　当院規定による
勤務時間：８：30～17：30
休　　日：年間日数108日（休日出勤あり）
　　年次有給休暇、特別休暇
応募方法：電話連絡の上履歴書を持参又は下記宛てに郵送してください
※主に急性期・回復期の脳血管疾患、また神経難病への自助具作成を含めた訓練を行っています。まずはお気軽に見学にいらしてください。

医療法人社団明芳会
横浜旭中央総合病院
〒241-0801　横浜市旭区若葉台４-20- １
TEL　045-921-6926（直通）
　　リハビリテーションセンター　池田まで
Ｅメール：jinji@asahi-hp.jp
http://www.ims.gr.jp/asahi-hp/

求　人

在宅で働きたい作業療法士さん
～お客様の在宅生活を一緒にサポートしていただけませんか？～

在宅介護を中心に29年の実績があるセントケア。介護会社ならではの、介護と医療の連携でお客様の在宅生活をサポートしています。在宅に興味のあるOTさんPTさん募集中です !!

事業内容　訪問看護　訪問介護　訪問入浴　デイサービス　グループホーム　福祉用具貸与
　　居宅介護支援　住宅リフォーム　ケータリング　福祉用具販売　認知症デイサービス　等
　　☆☆☆在宅介護を中心に神奈川県内に57か所の事業所を展開しています。☆☆☆
募集人員　正社員　契約社員（非常勤）　※各ステーションで随時募集をしております。
待　　遇　当社規定による。正社員は賞与年２回・退職金制度あり
福利厚生　社会保険完備　交通費全額支給　正社員登用制度　各種研修制度　制服貸与　財形貯蓄
　　有給休暇　介護休暇　育児短時間労働制度　社員持株会制度　慶弔見舞金　健康相談　等
勤務時間　９：00～18：00　（非常勤は応相談）
休　　日　月８日～９日（基本土日休み）、有給休暇、特別休暇等　※非常勤の方は勤務希望に応じます。
勤 務 地　訪問看護ステーション大和
　　大和市つきみ野2-7-18　（東急田園都市線　つきみ野駅　徒歩12分）
　　訪問看護ステーション川崎宮前
　　川崎市宮前区馬絹1451　（東急田園都市線　宮崎台駅　徒歩10分）
　　訪問看護ステーション横浜
　　横浜市南区永田東1-1-7　（京浜急行線　井土ヶ谷駅　徒歩３分）
応募方法　下記ホームページ、メール、電話からお問い合わせください。
　　お仕事相談会、会社説明会も随時行っておりますのでお気軽にご連絡ください。

セントケア神奈川株式会社
本社：〒231-0011　横浜市中区太田町４-55　横浜馬車道ビル７階　　採用担当：碓井伸也　神田玲子
電話：045-227-8871　FAX045-227-8873　HP http://www.saintc-k.com　メール saiyo-ｋ@saint-care.com

連載

青年海外協力隊体験記 ～大草原の小さな私～

第４回 OTを知ってもらおう！

青年海外協力隊　平成23年度２次隊　堤由貴子

●執筆者プロフィール
大学卒業後一旦就職するも、退職。その後、作業療法士資格を取得し、都内の病院へ３年間勤務する。平成22年、長年の夢であった青年海外協力隊の試験を受験し、合格。平成23年３月退職し、７月から約２カ月の訓練を経て、９月より協力隊員としてモンゴルに赴任予定。

平成23年８月現在、私は大阪にあるJICA大阪という研修施設で、青年海外協力隊の派遣前訓練を受けている。派遣前訓練とは、任国へ行く直前にJICAボランティアに義務づけられている65日間の訓練であり、第一の目的は派遣国の言語を覚えるということ。その他にも、派遣される立場としてのルールの理解、任国の理解や任地での活動に役立つ実践的な練習など、様々な訓練要素を含んでいる。毎朝７時のラジオ体操から始まり、夕方までびっちり組まれている語学と国際協力に関わる講座をこなし、さらに宿題やテストなどもある。

訓練所では様々な職種や技術を持った人が集まって共同生活をしている。小学校教諭、PCインストラクター、服飾デザインといった多様な職種の約120名のボランティアが参加している。知り合ったばかりの頃は、「あなたの職種は何？」という話になるのだが、そう聞かれて作業療法士だということを伝えても、「ふーん…。それで、作業療法士って何をするの？」という返答も少なくない。「作業って、土木？」という質問もある始末。作業療法について口頭で説明はするものの、なかなかピンとこない人も多いようだった。OTは医療・福祉畑以外の人にはまだまだ馴染みが薄いのを実感した。

そんな中、栄養士とOTの協力隊員が合同で「栄養管理と腰痛への対処」について講座を開催することになった。訓練中には、協力隊員自らが企画し、講師となって、講座を開催するというプログラムがある。その内の一つを担当することになったのだ。今後、任地においてOTに馴染みのない人々に、OTへの理解を深めてもらうためには、自分の体で体験して理解してもらうことも一つの手である。今回のことは、その練習ができる非常によい機会。また、OTのことを他の協力隊員に知ってもらうきっかけにもなる。

講座はまだ先なので、今回その様子を伝えられないのは残念だが、現在少しずつ準備を進めている。OTのことを、まずは身近な人に、少しでも伝えたい。OTっておもしろい！そして、もうちょっと知りたい！って思ってもらえるような講座にしたいなぁ。

OT の協力隊員が集まり、腰痛についての講座企画をしている様子

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース　＜151 号＞2011 年９月発行（年６回発行）
発行責任者　渡邉愼一
編集責任者　小峰一宏
編集担当　松本政悦・大宮幸恵・菊地美帆・千葉友浩・矢野竜也・堤由貴子・本間嗣崇
印刷　発送　第一資料印刷株式会社
事務局　〒231-0011　横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301 号　TEL/FAX：045-663-5997
月火水木金　10：00～16：00　メールアドレス：jimu@kana-ot.com
一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト http://kana-ot.com/　作業療法　神奈川　検索